

氏名 (ふりがな)	吉中 季子 (よしなか としこ)
所属・職位	保健福祉学部社会福祉学科・準教授
最終学歴	大阪府立大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了
学位	修士 (社会福祉学)
免許・資格	社会福祉士 (登録番号: 第 42054 号) 精神保健福祉士 (登録番号: 第 19046 号)
連絡先	TEL: 01654-2-4194(ext.1315) FAX: 01654-3-3354 E-mail: yoshinaka@nayoro.ac.jp (メールを送る際には.jpg を.jp に変更して下さい) 研究室所在地: 新館 3階 1315 室

専門分野	社会保障, 公的扶助
主な担当科目	社会福祉学科: 社会保障論, 公的扶助論
主な研究テーマ	1. ワーキングプア層における母子世帯の研究 2. DV 被害者の支援と生活再建における研究 3. 無年金問題と社会的排除
研究キーワード	女性と貧困, 社会的排除, 社会保障, ホームレス
主な著書・論文 (最近 5 年間)	1. 吉中季子. 日本における無年金, 無保険世帯の実態と課題, 福原宏幸編『社会的排除/包摂と社会政策』, 法律文化社 2007: 153-176 2. 吉中季子. 母子世帯と社会的セーフティネット—母子世帯の実態調査からの一考察. 『労働調査』労働調査協議会 2010: 5: 24-34. 3. Yoshinaka T. The Mother and Child Household in the Working Poor Class: The Realities of the Past and Present 『大阪体育学健康福祉学部紀要』 2010: 7: 1-12. 4. 吉中季子. デンマークにおけるドメスティックバイオレンスの支援策～シェルターによる支援体制～ 『大阪体育学健康福祉学部紀要』 2009: 6: 13-29.
外部獲得資金 (最近 5 年間)	1. 2009-2011 年度科学研究費補助金, 基盤研究 C (日本学術振興会), DV 被害者のニーズに基づく支援のあり方と自立支援に関する研究, 研究代表者 2. 2006-2007 年度科学研究費補助金, 若手研究 (スタートアップ) (日本学術振興会), DV 被害者の自立支援と生活再建に関する研究, 研究代表者 3. 2009-2010 年度 厚生労働省 科学研究費補助金 (行政政策研究事業), ワーク・インテグレーションに取り組む社会的企業の機能条件と支援政策に関する研究—就労支援と雇用促進の日本型モデル構築の基礎分析, 研究分担者 4. 2009-2011 年度 科学研究費補助金, 基盤研究 (C), ドメスティック・バイオレンス被害女性のためのシェルターの空間改善に関する研究, 研究分担者
学会活動	1. 日本社会福祉学会会員 (2003 年～現在) 2. 福祉社会学会会員 (2006 年～現在) 3. 社会政策学会会員 (2008 年～現在) 4. 貧困研究会会員 (2008 年～現在) 5. 居住福祉学会会員 (2010 年～現在)
社会貢献	<委員会など> ・堺市生活保護自立支援プログラム検討委員会委員 (2006～2007 年) ・連合総合生活開発研究所「働く貧困層(ワキングプア)に関する調査研究会」委員 (2008 年～2010 年) ・厚生労働省社会・援護局地域福祉課・ホームレス支援人材育成事業 (NPO 法人ホームレス支援全国ネットワーク受託事業) 委員 (2010 年～2011 年) <講演など> ・ワークショップ テーマ: 「デンマーク女性施設視察報告」にいがた女 (ひと) と男 (ひと) フェスティバル (2010 年 10 月, 新潟市ユニソンプラザ) ・デンマークの女性・子ども福祉に学ぶ シンポジウム開催 (2010 年 5 月, 神戸市 あすてっふ神戸)

コメント	社会福祉は、理論と実践を伴いながら「現実」に関わっていきます。そうした多様な可能性に、名寄でチャレンジしてみませんか。
------	---